

# 令和3年度 文京区立明化小学校 授業改善推進プラン

## 第4年1組

	児童の実態	指導のめあて	具体的な授業改善の方法	2学期評価	3学期評価
国語	<p>○大事なことを聞き落とさずに話を聞くことが難しい児童がいる。</p> <p>○文章を読む力や内容を読み取る力の個人差が大きい。</p> <p>○漢字の習得に個人差がある。前年度までの既習文字も習得が不十分な児童が2～3名いる。</p>	<p>○話を聞く姿勢をしっかりと定着させ、大事なことを聞き取る力を身に付ける。</p> <p>○文章を正しく音読できるようにする。</p> <p>○漢字を書き順や形を正しく覚えられるよう指導する。 ○漢字を正しく読み書きする力を育てる。</p>	<p>○話を聞く姿勢が定着するように、適宜声掛けを行う。話の後に、要点を確認する機会を設ける。</p> <p>○家庭と連携を取り、毎日音読に取り組む宿題を出す。文章の読み取りでは、内容を正しく読み取れるよう、授業の導入でめあてを明確に示す。ワークシートやノートを活用する。</p> <p>○漢字を正しく習得できるように、漢字スキルや文字盤を活用する。一斉指導で、空書きを取り入れ、書き順の確認を行う。また、定期的に漢字テストを行い、未習得の文字については練習を行い、再テストを行う。</p>		
社会	<p>○学習問題に対して、積極的に予想をできる児童が多い。一方で、資料の読み取り、資料からの考察は苦手な児童がいる。</p> <p>○新聞作りでは、教科書や資料等の内容をそのまま写しているだけの児童も多い。</p>	<p>○地図や資料から読み取ったことを基に、考察する力を育てる。</p> <p>○教科書や資料等を活用し、学習して分かったことや考えたこと、まとめを自分の言葉でまとめる力を育てる。</p>	<p>○地図の見方や資料を読み取り、自分の考えや予想を考える時間を学習の流れの中に設ける。</p> <p>○自分のノートが、学習の記録になるよう、ノート指導を行う。主体的にノート作りに取り組めるよう、手本となる児童のノートを掲示する。</p>		

算数	<p>○正確に計算できる児童が多いが、かけ算があいまいな児童もいるなど、既習事項を含めて、基礎・基本の定着に差がある。</p> <p>○三角定規やコンパス、分度器を使った図形の作図に関して個人差がある。</p>	<p>○学年に応じた基礎的・基本的な学力を身に付けられるようにする。</p> <p>○正確に計算したり、図形を描いたりする児童を育てる。</p>	<p>○計算間違いを防ぐために見直しや検算の習慣をつけさせる。また、習熟度別少人数指導を通して、苦手な児童に対して個別指導や児童同士の学び合い学習など細やかな支援を行う。</p> <p>○三角定規やコンパス、分度器などの使い方の復習をこまめに行う。また、作図に十分な時間を取り、個別指導も行う。</p>		
理科	<p>○観察や実験に関しては、意欲的に活動する児童が多い。</p> <p>○観察や実験から分かったことをまとめたり話し合いをしたりすることを苦手とする児童が見られる。</p>	<p>○学習内容への興味関心を高めると共に、実験や観察の結果を正確に記録する児童を育てる。</p> <p>○学習課題について、自ら疑問をもち、結果や分かったことから次への疑問や課題を導き出すことができる児童を育てる。</p>	<p>○観察や実験などの体験活動を多く取り入れる。</p> <p>○学習課題を自ら設定できるように、導入で児童が学習内容について疑問をもつような実験や資料の提示を行う。</p> <p>○実験結果や分かったことを自分の言葉で書き、またその内容をグループで交流させ、友達の意見を聞きながら個々の考えを深める。</p>		
体育	<p>○どの運動に対しても意欲的に取り組む児童が多い。</p> <p>○授業に対する振り返りが十分にできていない児童が多い。</p>	<p>○自らめあてをもち、基本的な動きを体得するとともに、運動することを楽しさや喜びを感じる児童を育てる。</p> <p>○授業でやったことを振り返り、次の授業につなげられる児童を育成する。</p>	<p>○個々にめあてをもち、チームで互いの動きの長所や短所を観察、意見交換させたり相互評価させたりして技能を高め合う。</p> <p>○各授業で明確なめあてを提示し、その達成に必要なことを考えて授業に参加できるようにする。また、授業後の振り返りを丁寧に行い、めあてに対する振り返りを行えるようにする。</p>		